

厚生連だより

平成27年9月1日

第53号

発行
 上都賀厚生農業協同組合連合会
 上都賀総合病院
 老人保健施設かみつが

編集
 上都賀総合病院年報等編集委員会
 〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033
 TEL 0289-64-2161

かみつが



第6回外科医体験セミナー

ご挨拶

上都賀厚生農業協同組合連合会
 代表理事会長 **黒本 一郎**



厚生連だよりかみつが第五十三号の発刊にあたりご挨拶申し上げます。

JA並びに関係機関の皆様には、日頃から厚生連の医療・保健・福祉事業運営にあたりまして、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

上都賀厚生農業協同組合連合会(厚生連)は、昭和十年に上都賀総合病院を設立し、平成八年に老人保健施設かみつが、訪問看護ステーションひばり、在宅介護支援センターかみつがを開設、さらに、平成二十年に鹿沼中央地域包括支援センターを開設し、五事業所を運営しております。

厚生連は、日赤、済生会とともに公的三団体として、それぞれに社会的使命を持っています。日赤は災害医療、済生会は生活困窮者の医療、厚生連は地域医療です。全国に日赤は九十二病院、済生会は八十病院、厚生連は百十一病院ありますが、厚生連病院は郡部に位置する病院が多く、人口十万人未満の地域に立地する病院が約六割を占めます。それだけに地域医療の担い手になってきました。上都賀厚生連は、栃木県東西地域の医療・保健・福祉を確保するため、診療・看護体制の充実強化など、地域の拠点病院及び施設として急性期医療と在宅復帰に向けた事業の充実を図っております。

上都賀総合病院においては、新病院建設中であり、本館は、平成二十六年九月

末に完成し、十月に竣工式を執り行い、完全オープン致しました。

さらに、北側に地上十二メートル高上げ式ヘリコプター離着陸施設建設工事、駐車場整備並びに外構工事が引き続き進行中です。平成二十八年三月頃完成予定です。皆様には、何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますがご理解、ご協力をお願い致します。

また、新病院の完成に合わせるように、産婦人科は、平成二十六年四月から再開、糖尿病センターは、平成二十六年十月からオープン致しました。認知症疾患医療センターは、平成二十六年二月から専門の相談員による様々な相談や認知症疾患の鑑別診断・初期対応等に多職種連携で包括的に取り組んでいます。

新病院の医療機器は、がん治療放射線治療装置(リニエック)をはじめ、磁気共鳴断層撮影装置(MRI 3.0テスラ)、X線コンピュータ断層撮影装置(CT 128列)、RTI診断装置、乳房X線撮影装置など世界最高クラスの設備に更新整備致しました。

医師不足、看護師不足、消費税増税等、非常に厳しい経営環境の下、地域の公的基幹病院として、1次2次救急病院、へき地医療拠点病院、がん診療連携拠点病院、脳卒中地域拠点医療機関、災害拠点病院等の役割を果たし、地域社会の発展に貢献する使命を全うして参ります。

老人保健施設かみつがにおいては、医療も介護も、入所も通所のサービスも提供する老健に対する期待は大きく、住み慣れた地域での生活支援を基本理念に家庭復帰、在宅生活支援施設としてその使命を果たしてまいります。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。結びに、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

糖尿病センター開設について

糖尿病センター センター長

兼 内分泌代謝科部長

松村美穂子



糖尿病センターは、平成26年10月より新棟が開棟する際、開設されました。内科外来とは独立した形で、新棟・二階に位置します。センター内には、診察室以外に療養指導室、栄養相談室が併設されています。今後、栃木県・県西地区の皆様のお役に立てればと思っております。

日本は糖尿病大国です

糖尿病は、生活習慣病(ライフ・スタイル)が発症原因の一つになる疾患群)の代表例です。現在、日本では九五〇万人の患者さんがいます。糖尿病疑いの方が、一〇〇万人います。合わせて二、〇五〇万人の方が、糖尿病あるいは糖尿病の疑いということになります(平成24年度国民健康・栄養調査より)。また、驚くことに日本は、世界各国の糖尿病患者数ランキングで、なんと10位にある糖尿病大国です。

鹿沼市の糖尿病医療の現状

鹿沼市には、センター設立以前

には、糖尿病専門医・糖尿病指導医が居ない状況でした。しかし、鹿沼市は県内でも有数の糖尿病患者が存在します。具体的には、外来一人あたりの糖尿病の医療費は、栃木県28市町内で第5位であります。また、鹿沼市の外来医療費全体を百%として、糖尿病(11%)、高血圧(9%)、脂質異常症(9%)の順で多く、糖尿病が一番多くの医療費が投じられています。さらに鹿沼市は、外来だけではなく、外来入院医療費の疾患別も、糖尿病が7%で1位であります。

糖尿病センターの目的は?

糖尿病の治療は、多職種協働が求められます。センター化することによって、チーム医療の推進に努められると考えます。チーム医療の重要性は多くの病態で強調されますが、糖尿病はその典型モデルとして期待される疾病であります。当センターも、看護師(糖尿病看護認定看護師・糖尿病療養指導士)、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、検査技師などの各医療専門職の方々が、チームのメンバーであります。このメンバーが、糖尿病患者さんの日常的な療養生活のサポート・指導に一体となつて関わることが、糖尿病センターの最大の目的であります。

糖尿病センターの特徴的な業務とは?

【透析予防外来】現在、人工透析導入件数の第1位が、糖尿病腎症です。透析導入を減少させることを目的に、腎症が進展しないよう医師・管理栄養士・看護師(糖尿病看護認定看護師・糖尿病療養士)が連携して行います。対象は、糖尿病腎症二期以上の患者さんで、ほとんどの場合で御家族も同席されます。内容は、腎臓食(塩分・蛋白制限食)・カリウム制限食の栄養指導、病期の説明・日常生活指導であります。1回、1時間から2時間かけて、重点的に指導致します。また、当外来は、透析予防指導管理料として、保険点数(三五〇点)も算定されております。

【フットケア外来】糖尿病は、神経障害、血流障害の両方の要因より、傷が治りにくく、また傷があつても痛みを感じにくいといった壞疽に至ることもあります。また足変形(凹足やシャルコー足)が起こりやすいため、陥入爪やタコ、ウオノメが出来やすいです。皮膚が乾燥しやすく、ひび割れも多く散見されます。主な内容は、定期的な足の皮膚と爪の診察と治療、セルフケア指導(スキンケア、爪の切り方、靴選び、足観察のポイント)、免荷療法(インソールの調整)です。一か月で、約30~40人のフットケアを行っております。さらに、定期的に「足

病変カンファレンス」を開催し、整形外科・形成外科・皮膚科・循環器内科および看護師・薬剤師・理学療法士と協力し、集学的治療を目指しております。

【自己注射製剤の外来での導入】インスリン注射やGLP-1受容体作動薬注射の導入を、外来で行っております。手取り足取り分かりやすく、注射手技や製剤種類の説明を行っております。自己注射が難しい方には、同居されてる御家族にも指導させて頂きます。また注射歴が長くなると、手技が乱雑化し、それが血糖コントロールに悪影響を及ぼしていることが有ります。そのような方々に、導入後の再指導も定期的に行っております。

【自己血糖測定器の外来導入】インスリン治療やGLP-1受容体作動薬治療の方、妊娠糖尿病の患者さんは、保険診療内で、自己血糖測定を行うことができます。リアルタイムに自分の血糖が分かることで、速やかな生活習慣の改善が期待できます。また、低血糖もすぐに判断でき対応することが可能です。

糖尿病センターでの最新の治療

【24時間持続血糖測定(CGM: continuous Glucose Monitoring)】CGMは、手のひら半分以下の小さな機械で、腹

部皮下に専用のセンサを装着し、24時間、連続的に血糖測定をします。CGMを用いることで、これまで測定が難しかった血糖値の変動を詳細に把握でき、より適切な薬剤選択を導くことが可能になりました。

【持続皮下インスリン注入療法(CSII: continuous subcutaneous insulin infusion)】インスリンポンプを用いて24時間、持続的にあらかじめプログラムされた量のインスリンを皮下に注入する方法です。主に、一日4~5回注射をしている方が対象です。毎日インスリン製剤を持ち歩く必要がなくなり、なかでも最大の利点は、血糖コントロールが改善することです。

最後に

糖尿病センター設立にあたりまして、御尽力と御協力を頂いた方々へ、厚く御礼申し上げます。これから、糖尿病教育・糖尿病治療、また糖尿病の防止に努力してまいります。今後とも、どうぞ宜しくお申し込み申し上げます。





自動縫合器体験

今回で6回目となる中学生の外科医体験の夏が来ました。将来の地域医療を担う人材の育成に少しでも貢献したいとの思いで、8月1日(土)に「第6回外科医体験セミナー」を開催しました。今年は、20名の中学生が実際の手洗い体験や内視鏡手術体験、自動縫合器体験、ブタの骨のプレート固定・抜去体験、縫合糸の結紮体験、挿管体験等に挑戦しました。最初は、緊張のおもちゃでしたが、初めてのことに挑戦しながらも笑顔が見られ、夏のいい思い出となったようです。

今回は、是非中学生の皆さん体験してみませんか。

「第6回外科医体験セミナー」@上都賀総合病院を開催しました



手術衣試着体験



縫合糸の結紮体験



ブタの骨プレート固定・抜去体験

放射線機器更新のお知らせ

当院ではこの度、新病院開院に伴い、放射線機器を更新整備しましたので、一部をご紹介します。

3テスラ磁気共鳴断層撮影装置 (MRI) 及び、被曝量を大幅に低減させる128列CT (コンピューター断層) 撮影装置をはじめとした最新鋭の機器を導入し、より高度かつ質の高い検査、診療を行うことが出来るようになりました。今後もJA組合員並びに地域住民の皆様の医療にさらに貢献してゆきたいと思えます。



MRI装置



エックス線CT装置



乳房撮影装置



核医学診断装置 (ガンマカメラ)



一般撮影装置 (救急センター)



エックス線骨密度測定装置

— 基本理念 —

— 地域社会への貢献 —

私たちは、地域住民の総合病院として保健・医療・福祉活動を介して、地域社会の発展に貢献します。

— 基本方針 —

- 一、患者さんの立場を尊重し、倫理・精神面へ配慮します。
- 一、安全な医療を確保し、患者さんに信頼される医療を行います。
- 一、常に、医療の質の向上に努めます。
- 一、患者さんと、より良いパートナーシップを築きます。
- 一、地域の基幹病院として、地域社会や医療機関と連携し、住民の健康増進に努めます。

— 患者さんの権利と責任 —

- 一、安全で適切な医療を公平に受ける権利
- 一、個人の人権が尊重され、プライバシーを保たれる権利
- 一、病気・検査・治療・見直しなどについて、説明を受ける権利
- 一、治療法の選択が尊重される権利
- 一、私たちと一緒に病気を治すことに協力していただくこと
- 一、患者さんの療養環境を守るため、病院の諸規則や社会的ルールを守っていただくこと



院内・敷地内は禁煙となっております。

職場紹介

事務部 施設管理課

施設管理課は施設管理係5名、機械設備係4名、防災センター担当1名(パート職員及び派遣職員4名含む)の総勢10名で構成されています。業務は、施設管理課の名前のとおり建物のすべての管理を実施しています。

施設管理係は、建物の清掃・修繕・電気の管理を主に実施しており、清掃は、患者様がきれいな環境で当院を利用して頂く様努めています。修繕は、去年の10月より新病院Ⅱ期工事が完成し新しい病院で診療を行っています。小物の製作等の依頼がありますので営繕係にて対応しています。電気係は、院内で使用する電気供給の全て及び自動ドア・エレベーター等の管理を行っています。機械設備係は、院内で使用する上下水道・空調(エアコン等)の適正な使用管理を行っています。防災センター担当は、病院全体の防犯対策に努めています。施設管理課は、来院者が新しい病院にて快適に過ごせる様、日々努力しています。



一般外来診療表

Table with columns: 診療科目, 受付時間, 備考. Lists various medical departments and their operating hours.

【休診日】日曜日・祝祭日・第2,4土曜日・創立記念日・年末年始

専門外来診療表

Table with columns: 診療内容, 担当診療科, 曜日, 受付時間. Lists specialized medical services and their schedules.

※診療上の都合により変更になる場合がありますので、必ずご確認の上ご来院下さい。

看護師奨学生募集

～ あなたの「学びたい」をサポートします ～

当院には、看護学生のみなさんの勉学を支えるための奨学金制度があります。奨学金の返済については、卒業後当院にて看護師(貸与対象職種)として貸与期間に応じた期間を勤務していただいた場合、免除となります。奨学金制度に興味・関心がある方は、随時ご相談に応じますので、下記までお気軽にお問合せ下さい。

〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033

かみつが厚生連 上都賀総合病院

担当: 総務課(3321) TEL0289-64-2161 FAX0289-64-2468 E-mail: soumu@kamituga-hp.or.jp URL: http://www.kamituga-hp.or.jp

当院患者支援センターでは医療ソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)が医療・福祉・介護に関するご相談をお受けしています。相談料はかかりませんのでお気軽にご相談下さい。

編集後記

新しい病棟に移動して年終ります。病院の職員食堂からは古賀志山が右に見え、左には手前に鹿沼の代表的な山、二股山で、奥には男体山、大真名子山、子真名子山、女峰山がそびえています。そして眼下には鹿沼の街並み。そして、それぞれの山の頂から見た光景、頂に至るまでの風景、日本列島の構造を思い、古賀志山とJR線路の関係、高速道路と山、勝道上人が男体山に登ったとした理由、徳川家康が日光東照宮の場所を決めた理由などさまさまを想像します。そして鹿沼の町史に対して、秋祭りの風景と共に思いを馳せているとあつこいつの間時間が経ちます。昼食が終わる、自分の業務に戻るとき、何万年の間存在した山、人間の作った町、文化、そして個人の人生について、様々な時間の流れを感じ、少しだけ哲学者になった気分を感じることが出来ます。

(高山 剛)